

危険なヒグマを 作らないために。

ゴミはヒグマを呼びよせます。

残飯、生ゴミなどはクマにとっておいしいごちそうです。

いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場に繰り返し出てきます。また、人そのものにも近付くようになります。

普通のクマはクマの方で人間をさけるものです。それをゴミによって引き寄せられることで問題がおきます。

あなたがクマの被害にあわないようにするために、そしてクマが人間に近付いて捕獲されないようにするために、ゴミの後始末はきちんとしましょう。野外に放置したり、埋めたりすることは危険です。

実際に2001～2005年度に全道で銃器によって捕獲されたヒグマ619個体の胃袋を分析した結果、3.7%に当たる23個体からゴミ類が出現しました。

ヒグマに荒らされたゴミハケツ



情報
BOX

違法な水産廃棄物へ、5km離れた地点からクマが1日で作って来て、20日間居ついたことがあります。
(上ノ国町での調査から)

あなたの不注意によるゴミが、あなたとクマを危険におとし入れるのです。

●出沒地域に住む人に…

ヒグマは時として危険な生き物になります。いつものことだと油断しがちですが、事故は家のすぐそばでも起きてしまいます。

家庭ゴミや畜・水産廃棄物はクマを強く引きつけます。犬の放し飼いや山で放して連れ歩くのは危険です。吠える犬はクマを興奮させます。

●山菜採りに行く人に…

クマも山菜を食べにきています。あなたはクマの餌場に入っています。

あなたが被害にあう確率の最も高い人です。下ばかり向いていないで、時には周囲に注意をはらいましょう。単独で入ることなく、おしゃべりしたり、音をたてることを忘れないように。また、クマの痕跡にも気をつけましょう。

●キャンプをする人に…

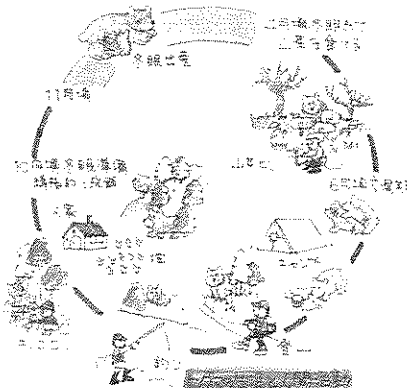
クマの痕跡のあるところでキャンプをしないようにしましょう。クマを引き寄せるゴミは持ち帰りましょう。ゴミを埋めてもクマはすぐに探し出します。

●登山が好きな人に…

クマの生活圏に入ることになりますから、どこにでもクマがいると考えて行動してください。早朝、日没の行動はクマと出会う確率が高くなります。山道で出あったらお互いにクマの情報交換をしましょう。ゴミは絶対に残さないようにしましょう。ゴミは後から来た人を危険におとしつけます。

●溪流釣りを楽しむ人に…

狭い溪流では、水音や風向きでクマも人もお互いに気づきにくくなってしまいます。常に周囲に気をくばりましょう。



あなたとヒグマの 共存のために

北海道の多くの地域は
ヒグマの生息地です。



出沒地域に住む人に…
山菜採りに行く人に…
キャンプをする人に…
登山が好きな人に…
溪流釣りを楽しむ人に…

北海道環境生活部環境局 自然環境課

クマとの事故をなくすには…

まず落ちついて行動して下さい。

ヒグマに出会わないことです。

それでもヒグマに
出会ってしまったら…

ヒグマの出没情報に気をつけましょう。

山に入る前には新聞やテレビあるいは地元の人に聞くなどクマの出没情報に気をつけましょう。

音を出しながら歩きましょう。

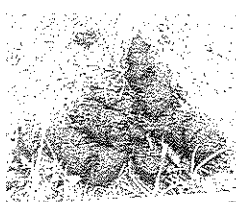
山に単独で入らない。しゃべりながら歩く。鈴をつける。手をたたく。大声で「人が来ていますよ」などと声をかける。



薄暗い時には行動しないようにしましょう。

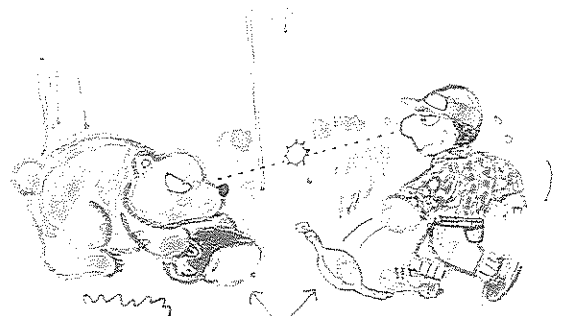
クマのフンや足跡、食べた跡を見つけたらすぐにひきかえしましょう。

これらの跡は憐れいとなかなかわからないものですが、下図のような足跡・フンや草の食いざれた跡などをみておかしいと思ったら引き返すことです。



クマの前足
後足
人の足

ヒグマのフン



これらの回収は
自殺行為です。

大声、走って逃げる、石投げは自殺行為です。

クマを刺激しないことです。
木に登ってやりすごした例もあります。まず落ちついて状況を判断することです。

子グマの後ろに必ず親グマあり!

子グマを持ち帰ろうとするのは自殺行為です...

子グマをみつけたら絶対に近づかないことです。すみやかに立ち去って下さい。不用意に近づくと母グマの攻撃をうけます。

なお、子グマは生後1年半～2年半まで、大きさにして大型犬以上になるまで、母親といっしょに行動します。

襲いかかられたら...

これで完全という方法はありませんが...

北米では、首の後ろを手で覆い、地面に伏して、頸部、後頭部への致命傷を防ぐ方法を勧めています。道内の死亡事故でもこの部位が致命傷となっている事例がみられます。

また、クマ撃退スプレーが、ある程度有効であることも知られています。

一番大事なことはクマに出会わないことです。

情報BOX

●ヒグマの食物

ヒグマは主に草や果実、木の実などの植物質のものを食べます。

春はフキなどの草本類、秋はドングリ、ヤマブドウ、コクワ等の木の実をたくさん食べます。